

9. 障がい福祉の推進について

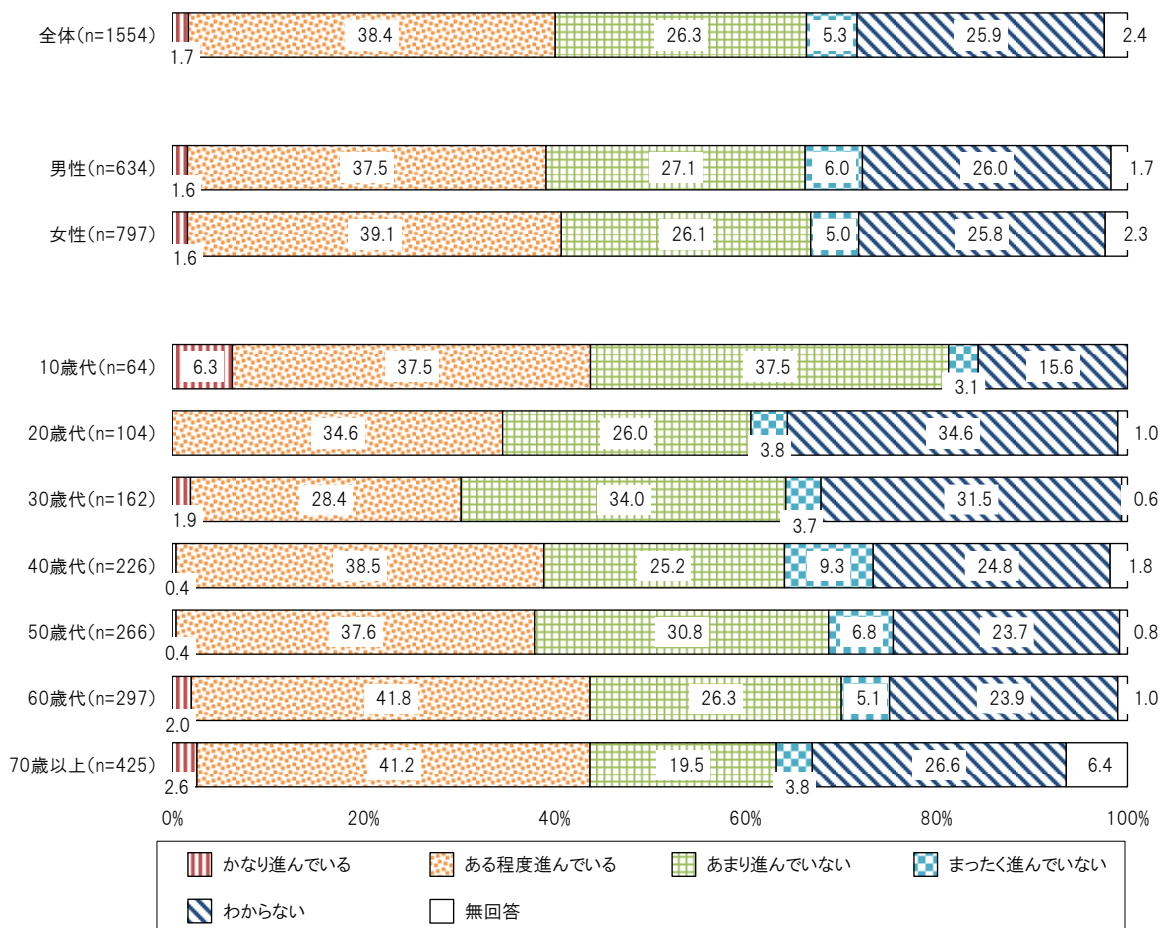
問27 障がいのある人に対する人々の理解は進んでいると思いますか。（○は1つだけ）

全体では「ある程度進んでいる」が38.4%で最も高く、ついで「あまり進んでいない」が26.3%、「わからない」が25.9%となっている。

性別にみると、各回答はほぼ同割合となっている。

年代別にみると、「かなり進んでいる」と「ある程度進んでいる」の合計の割合について、30歳代で30.3%と最も低くなっており、ついで20歳代で34.6%となっている。一方、10歳代、60歳代、70歳以上では43.8%と高くなっている。

問27 障がいのある人に対する人々の理解は進んでいるか



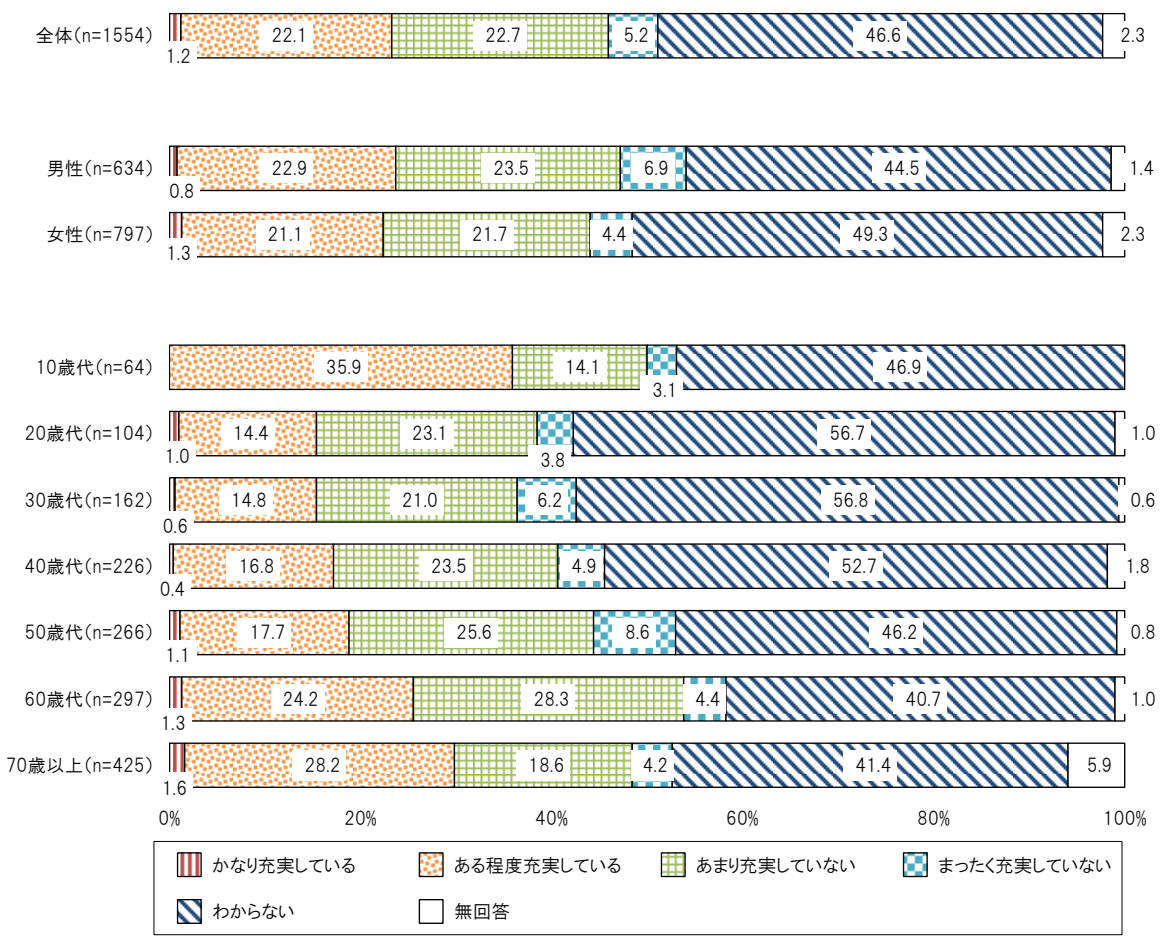
問 28 障がいのある人が自立した生活ができるよう支援する福祉サービスは充実していると思いますか。（○は1つだけ）

全体では「わからない」が46.6%で最も高く、ついで「あまり充実していない」が22.7%、「ある程度充実している」が22.1%となっている。

性別にみると、「わからない」の割合は女性の方が男性より4.8ポイント高くなっているものの、各回答はほぼ同割合となっている。

年代別にみると、「かなり充実している」と「ある程度充実している」の合計の割合について、10歳代で35.9%と最も高くなっており、ついで70歳以上で29.8%となっている。一方、20歳代、30歳代で15.4%と最も低くなっている。

問28 障がいのある人の自立支援のための福祉サービスは充実しているか



問 29 障がいの有無にかかわらず、安心して生活・行動できるようにするための日常生活の中におけるバリアフリー化などの整備は進んでいると思いますか。（○は1つだけ）

全体では「あまり進んでいない」が38.6%で最も高く、ついで「わからない」が26.3%、「ある程度進んでいる」が25.5%となっている。

性別にみると、「かなり進んでいる」と「ある程度進んでいる」の合計の割合について、男性の方が女性より6.7ポイント高くなっている。

年代別にみると、「かなり進んでいる」と「ある程度進んでいる」の合計の割合について、10歳代で39.0%と最も高くなっており、ついで40歳代で30.9%となっている。一方、30歳代で22.2%と最も低くなっている。また、「あまり進んでいない」と「まったく進んでいない」の合計の割合では、60歳代が52.5%で最も高く、20歳代で33.6%と最も低くなっている。

問29 日常生活の中におけるバリアフリー化などの整備は進んでいるか

